

# 協同組合と歩む

## 2012年は国際協同組合年、その意義と課題

2012年は国際連合(以下、国連)が定めた国際協同組合年に当たります。私たちが協同組合として歩む意義や課題について、国際協同組合年をきっかけに考えてみましょう。

J A 全中総務企画部長 比嘉政浩



### 国際協同組合年 (IYC) とは?

#### 国連が2012年を

#### 国際協同組合年と定めた背景

国連は2012年を国際協同組合年 (International Year of Co-operatives= IYC) と決めました。国連は、協同組合を「人々の経済社会開発への最大限の参加を促している」「持続可能な開発、貧困の根絶、都市と農村地域におけるさまざまな経済部門の生計に貢献できる企業体・社会的事業体」と高く評価しています。この背景には、2007年の食料危機、2008年以降の金融・経済危機に対し、協同組合が高い耐久力・回復力を示した、との認識があります。

### IYCの目標は「協同組合の認知度向上」

国連は、IYCの目標を「社会経済開発に対する(協同組合の)貢献に関する認知度を高める」などとし、スローガンを「協同組合がよりよい社会を築きます」に定めています。「協同組合は価値ある存在だが、多くの人がそのことを理解していない。IYCを定めるので、協同組合への理解促進の契機にしてほしい」というのが、国連からのメッセージです。

### 「協同」での解決を模索した 1つの時代も課題があり

1844年、英国でロッテデール組合が誕生しました。荒々しい資本主義の勃興期に、生活用品の高騰、混ぜ物販売などの不正、高

### 現在の わが国社会をどう見るか

わが国経済は市場経済を中心としています

を支える農業が縮小していいのか。格差が拡大し、地域の活気が失われていいのか。全体像はまだ見えません。しかし、協同組合に対する期待はあり、一定の実績もあると思います。JAグループの取り組みだけでは課題は解決しませんが、使命を感じ、努力したいと考えます。

### JAグループが担う 社会的意義

#### JAに対する 理解を広げたい

このような視点から見て、JAグループは、大きな社会的意義を持っています。自らの収益で営農指導し農業振興している、採算困難な農村部でも高齢者福祉・医療を提供している、助け合い組織など多くの地域運動を支えている、地産地消や金融・共済を通じ地域内の資金循環を促している、地域から離れず(離れることができず)、地域と共に何とか突破口を探す努力をしている、ことなどです。IYCを契機に、従来以上にJAに対する理解を広げたいと考えています。

### わが国のIYC実行委員会等の 活動具体策

わが国では、JAグループ、生協、漁協、労協、信金などの全国組織の代表者や有識者で構成する「IYC全国実行委員会」を設立しました。運動重点を「社会・経済に対する協同組合の貢献についての認知度向上」に定め、

### 誇りに思っ

私たちJAは、国連が協同組合を高く評価し、IYCを定めたことを誇りに思います。しかし、IYCをPRすること自体がその意義ではありません。大切なのはこれを契機に、国連もうまく使ってJAへの理解を広げること、自らの役割を自覚し直すことの2点であると考え、取り組もうと思っています。

### IYCを契機に

JAでの活動は、各県中から別途提起があるものと思います。私からお願いしたのは次の活動です。

- (1) JAからの情報発信に際し、「2012年は国連が定めたIYC」「世界的に協同組合は評価されている」との2点を加えていただきたい。「JAグループ統一コンテンツ」でもIYCを取り上げますし、パンフレットも作成します。
- (2) 名刺、印刷物などを通じて、ロゴやスローガンを露出していただきたい。関心を持った方がIYCのHPを見れば、理解が広がります。

### ロッテデール組合の誕生時と同様の「社会矛盾」の中で

ロッテデール組合誕生当時も、社会矛盾がありました。「歴史の後知恵」が可能なわれわれは、労働法制整備、消費者・金融行政確立、情報公開などの解決策を提示できます。協同組合の大きな役割も知っています。

しかし、19世紀の人々は知る由もありません。当時の人々は、確信はないができることからやろう、と、例えば協同組合をつくりました。他の対策も試行錯誤され、いくつかの課題は解決に向かったのだと思います。現在は当時に似た面があると感じます。命

## 協同組合がよりよい社会を築きます